

開催告知

2020年度
「第22回首都圏支部総会」2020年6月27日(土)
16:00~19:40
(受付開始 15:30~)於:丸の内ボールスター
(三菱信託銀行本店ビルB1
JR東京駅丸の内北口から徒歩5分)

●総会後の講演会●

現在講師を選定中です。
お楽しみにしてください。

皆さん総会に出席しましょう!!



新年に当たつて

首都圏支部長 (昭和48年法卒)

加澤 正樹

人文・法・経済学部同窓会首
都圏支部の会員、ご家族の皆さ
ま、新年明けましておめでとう
ございます。「令和」の新しい年
を迎え、我らが支部活動も新し
い時代を迎えました。

昨年の6月に新支部長となり
ました加澤です。まだ何もして
いない状況ですが、この機会を
お借りして自己紹介を兼ねたご
挨拶をさせていただきます。

私は、検察の大先輩である村
山元支部長とのご縁でこの同窓
会に参加しました。先輩・後輩
に囲まれた有名大卒の同僚達を
いつも羨ましく思っていたので、
村山先輩の存在は大変心強いも
のでした。

60歳で退官するまでは、総会
に出席する程度のお付き合いで
したが、支部活動に積極的に参
加してからは10年が過ぎようと
しています。この間、同窓会活
動を通して多くの先輩後輩と新
しい交友関係を持つことができ
ました。

公証人の仕事に一区切りをつ
けたこの度、これまでの恩返し
をしたいという気持ちもあって
支部長をお引き受けすることに
しました。

青松

新潟大学
人文・法・経済学部
同窓会
首都圏支部 同窓会報

第33号(2020年1月発行)



編集責任者 山我正明
事務局 TEL204-0023
東京都清瀬市竹丘3-21-12
E-mail: yamaga@smile.odn.ne.jp
■同窓会本部 Facebook (グループ)
<https://www.facebook.com/groups/334002366691370/>

とはいうものの、理念と実行
力に乏しい私ですので、どれほ
どのことができるかは未知数で
すが、皆さん意見をとりまと
めて、この支部が首都圏で生活
する若い同窓生のための組織と
して、存続できるよう力を尽く
したいと思っています。

さて、本同窓会は、①西大畑

60歳で退官するまでは、総会
に出席する程度のお付き合いで
したが、支部活動に積極的に参
加してからは10年が過ぎようと
しています。この間、同窓会活
動を通して多くの先輩後輩と新
しい交友関係を持つことができ
ました。

昨年11月18日(月)、24名の理事
が出席して元年度第2回理事会会
が丸の内ボールスターで開催さ
れました。

令和元年度第2回理事会報告

事務局長 山崎 彌代一 (昭和44年経済卒)

支部總会

- ④理事の推薦及び退任
- ⑤同窓会の活動目的

〔報告事項〕

- ①支部会報「青松」33号案内
- ②同好会等活動報告
- ③本部常任理事会報告

- ①令和元年度事業予算執行状況
- ②令和元年度事業実績と今後の予定
- ③令和2年度(第22回)首都圏

今回は山本理事(53年経済)が
提案した審議案件の⑤「同窓会の
活動目的」に多くの時間を割き
ました。提案の趣旨は現在の同
窓会は高齢者の親睦のための同
窓会になつてゐる、平成卒業世
代の参加を呼び掛けるため20~
40歳代の同窓生を対象に少人数
で内容の濃い会話形式の集まり
を開くべきだというものです。

そのような集まりを開催する
こと自体に反対はありませんで
したがそのやりかたとしてやり
たい人がやればよい、必要に応
じて同窓会が支援すればよいと
いう意見と、同窓会としてしつ
かりした体制を作らないどうま
くいかないという意見が出まし
た。また「会員相互の親睦を図
るとともに新潟大学の発展に寄
与する」という会則について見
直すべきだという意見と、今の
会則でも提案のような活動をす

世代、②五十嵐世代、③平成世
代の3世代からなっていますが、
②③世代の動向がポイントであ
ることは明らかです。
古き良き学生時代を懐かしむ
場を求める②③世代とは同床異
夢の感があります。学部の枠を
超えた交流も今後の課題です。



令和元年度第2回理事会(2019年11月18日 丸の内ボールスター)

高校までサッカー部、現在もた
・東京で勤務)
・新潟大学経済学部経済学科入学
・2007年経済学部経済学科卒業
・2007年から株式会社T-Bに入社、法人営業(卒業してから
・新潟大学経済学部経済学科入学
・3人兄弟の末っ子(次男)
・1984年6月19日生まれ、35歳2児の父
・福島県いわき市出身
・新潟大学磐城高校を卒業後、

初めてまして、星直人と申します。2019年の6月の総会にて新しく理事に就任致しました。宜しくお願い致します。

[自己紹介]



新理事になつて!
星 直人(平成19年経済卒)

集まりに参加してみようかといふ気持ちでした。ただ、会報で楽しそうに活動内容を伝えていた方は、大先輩といった年齢の方が多く、また知人もいるわけではなく、少々気後れがあり、実際に出席には至りませんでした。

もう少し若い層が、興味をもつて参加できるイベントがあるといかもしません。卒業したばかりの方や、仕事や家庭に全力投球の世代は、なかなか参加しづらいかもしれません。例えは

期です。定年後をどうしようかと不安を感じていました。なんなく人恋しさもあり、同窓会に参加してみようかといふ気持ちでした。ただ、会報で楽ししそうに活動内容を伝えていた方は、大先輩といった年齢の方が多く、また知人もいるわけではなく、少々気後れがあり、実際に出席には至りませんでした。

私は、約一年前に司法書士新入研修を受講しましたが、20代から80代まで、様々な年齢・経歴の方と一緒に過ごすことがで同窓会も「同窓」という要素以外はさまざまの人間の集まりです。ので、広い範囲の中から参加者が集まる、より良いものになるのではないか。多くの方が「参加してみたい」と思う会になるよう、微力ながらお手伝いできればと考えています。

まだサッカーとフットサルしています。
・座右の銘「適當(良い加減)」
・Tranquilo(トランキーロ/焦らないよ)

[同窓会首都圏支部を知った経緯]

2019年にFace Bookでたまたま友人が同窓会の長野支部の理事会に参加している写真を見て、大学の同窓会の活動があ

ります。
・1984年6月19日生まれ、35歳2児の父
・2003年磐城高校を卒業後、

そこで首都圏にも同窓会がないかインターネットで検索したところ、人文・法学・経済の同窓会のホームページを見つけました。興味があつたのですぐにメール

50代くらいの参加者が増えると、より充実した組織になるのではなかと思います。

私は、約一年前に司法書士新入研修を受講しましたが、20代から80代まで、様々な年齢・経歴の方と一緒に過ごすことがで同窓会も「同窓」という要素以外はさまざまの人間の集まりです。ので、広い範囲の中から参加者が集まる、より良いものになるのではないか。多くの方が「参加してみたい」と思う会になるよう、微力ながらお手伝いできればと考えています。

まずは同窓会の存在を認知してもらうために、友人に声掛けをしていきます。(すでにイベントがある都度告知しています)

まずは同窓会の存在を認知してもらうために、友人に声掛けをしていきます。(すでにイベントがある都度告知しています)



村山弘義氏寄贈の
太田喜二郎作
「赤い日傘」



「赤い日傘」
鑑賞してきました
服部 和夫(昭和36年法卒)

受けました。

一階の展示室へ。初めて知る画家「太田喜二郎」のプロフィール

を読み、110年も前に欧州に留学

し活躍された画伯と知りました。

先に20点程の作品を順に鑑賞し

ながら進み、会場の中央に展示

された「赤い日傘」を目にして、

「印象的な日傘の色と白い衣装の

女性の美しさ、気品、漂う雰囲気。

歩道は、真夏の緑豊かな木陰の通りとなっていましたが、この都会で「せみ時雨」の風情を久しぶりに味わいました。初めて行く目黒区美術館ですが、フロント

で爽やかに歓迎の挨拶と案内を



村山弘義氏寄贈の
太田喜二郎作
「赤い日傘」

自然の光と人物の描きこみ優しさに感銘しました。多くの作品の中で圧倒的に存在感を発する作品の前に長い時間たどり着きました。そして欧州で描いた200号のこの大作が、どのようにして日本まで運ばれたのか。何よりも画家が最も大切にしていたこの作品と村山弘義先輩との出会いにも思いを馳せながら鑑賞していました。

私は、炎暑はすっかり忘れ、思えば、炎暑はすっかり忘れ、ごすことができました。「赤い日傘」のご紹介をいただきまして、心より感謝申し上げます。

この素晴らしい作品が村山弘義様より母校・新潟大学に寄贈され、大学図書館に展示され、学んでいる多くの後輩達を育んでいることと「美しい赤い日傘」と、村山様の母校への思いに感銘、敬服申し上げます。

後日、8月16日、「読売新聞・学芸欄」に太田喜二郎の代表作「赤い日傘」(1912年)につき、「日傘の布地越しの赤味を帯びた光、木洩れ陽など、画面はまばゆい光にあふれている。この作品は新潟大学所蔵(村山弘義氏寄贈)」の記事が「赤い日傘」の写真入りで紹介されました。

なお、この展示会は9月8日まで目黒区美術館で開催されておりましたが、現在は新潟大学図書館に戻り、展示されています。



村山弘義氏寄贈の
太田喜二郎作
「赤い日傘」

